



エア抜き作業不要

自吸式”スマート注油システム”

(Viscon 特許技術 特許第 6363571 号)

粘度コントローラーのオイルタンクにオイルがあるのに、粘度コントローラーのポンプの中は無注油状態だった。粘度コントローラーの故障の原因の30%は、実はこれが原因でした。従来の粘度コントローラーの自動注油装置の大きな弱点でした。

無注油発生 → ポンプ部品摩耗 → 粘度コントローラーの精度不良発生・故障。

これは粘コンの注油システムが自吸式で無いために発生していました。自吸式でないので、いったんオイルが空になった後にオイルを補充しても、その都度面倒な “ エア抜き作業 ” をしないと、自動注油は行えません。

VISCON が開発した自吸式”スマート注油システム” は、面倒なエア抜き作業不要。注油の問題を解決しましたので、これで今までの故障の30%を占めた粘コンの注油不良問題も解決。

ご存知でしたか？ エア抜き作業が必要だったこと。

オイルタンクにオイル残量があるからと言っても、必ずしも注油が行われているとは限りません。海外のお客様にこの10年間調査してみたところ、知っているお客様は1社もありませんでした。ですから、もちろん “ エア抜き作業 ” を行っていません。

今までの粘度コントローラーのメーカー様においても親切なメーカー様は、
” オイルタンクがカラになってからオイルを補充しても、自動で注油されません。
注油ポンプのエア抜き作業が必要ですから取扱説明書を参照してください。”
との注意書きシールを粘度コントローラー内部に貼ってお客様に、エア抜き作業の必要性をお客様に以前は喚起していました。
そのような親切な注意書きシールの貼付もせず、また エア抜き作業の必要性も訴えていない粘度コントローラーのメーカー様が実際には殆どで、お客様もこの事実を知らされていないのが、残念ながら現在の状況です。

従来の粘度コントローラーの自動注油装置（自給式ではありません）

無注油発生フロー

オイルがカラになる → オイル補充 → エアー抜き作業をしない → 無注油 → ポンプ故障

エア抜作業をすれば無注油を防ぐことが出来ますが、今までのデータからエア抜作業を実行するお客様は殆どいません。これが粘度コントローラー故障の30%を占めていました。

VISCONは エア抜作業不要の注油システムを新たに開発し、特許も取得しました。これでもう注油不良という問題からも解放され粘コンの故障を従来に比べ30%削減です。

面倒なエア抜作業不要 !! 故障の故障も従来比30%削減 !!

Viscon Japanが開発した特許技術が、ユーザー様の手間を省き、故障も30%削減します。Viscon粘度コントローラーによる適正粘度管理で、ユーザー様の高品質なグラビア印刷・ドライラミネーションにViscon Japan(株)は貢献します。

従来の粘コン（エア抜作業必要）

自吸出来ない → エア抜作業面倒 → 無注油 → 部品摩耗 → 故障



無注油で摩耗劣化した部品

VISCON粘コン（自吸式 エア抜作業不要）

エア抜作業不要 → 自動エア抜 → 正常注油 → 粘コン正常運転